

日時	2023年6月22日(木)、6月23日(金)
会場	東京国際交流館 ブラザ平成 3階 国際交流会議場
住所	〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
交通	ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル駅」東口より徒歩約3分

6月22日(木) 10:30~20:00

10:00 ~ 10:30	開場・受付
---------------	-------

総会

10:30 ~ 11:00	第19回有機EL討論会総会
---------------	---------------

S1:TADF/UC 座長: 遠藤 礼隆 (株式会社Kyulux 開発部)

S1-1	11:00 ~ 11:20	超低電圧で駆動する青色有機EL	伊澤 誠一郎	東京工業大学フロンティア材料研究所/科学技術振興機構さきがけ
S1-2	11:20 ~ 11:40	Enhancing TTU-OLED performances by utilizing TADF Materials	Thanh Ba Nguyen	OPERA, Kyushu University
S1-3	11:40 ~ 12:00	機械学習による分子設計に向けた迅速化過渡発光分光計測装置の開発	古郡 美紀	東京理科大学 大学院/産業技術総合研究所
	12:00 ~ 13:20	昼食 (80分)		

表彰式 司会: 梅田 時由 (シャープディスプレイテクノロジー株式会社 開発本部)

13:20 ~ 13:30	第16回有機EL討論会業績賞
---------------	----------------

S2:受賞記念講演 座長: 梅田 時由 (シャープディスプレイテクノロジー株式会社 開発本部)

S2	13:30 ~ 14:00	大気中光電子収量分光装置の開発と普及による仕事関数およびイオン化ポテンシャル評価への貢献	中島 嘉之	理研計器株式会社
	14:00 ~ 14:10	休憩 (10分)		

S3:特別セッション <励起子ダイナミクス>

招待講演 座長: 梶 弘典 (京都大学 化学研究所)

S3-1	14:10 ~ 14:40	励起一重項と三重項のエネルギーが逆転した遅延蛍光材料の開発	相澤 直矢	大阪大学 大学院工学研究科
S3-2	14:40 ~ 15:10	三重項-三重項消滅に基づくアップコンバージョン材料の開発	楊井 伸浩	九州大学 大学院工学研究院
S3-3	15:10 ~ 15:40	励起三重項-基底三重項遷移蛍光に基づく「有機ラジカルEL」の開発	池田 浩	大阪公立大学 大学院工学研究科/大阪公立大学研究推進機構
	15:40 ~ 15:55	休憩 (15分)		

A1:企業展示広告 座長: 中野谷 一 (九州大学 大学院工学研究院)

A1-1	15:55 ~ 16:25	新しい有機EL材料の開発を支援する分子シミュレーションと機械学習のプラットフォーム: Materials Science Suite	シュレーディング株式会社	
A1-2		OLED素子製作と評価プラットフォームのご紹介	公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団	
A1-3		OLEDに関する分析技術紹介	株式会社住化分析センター	
A1-4		会社及び製品のご紹介	株式会社エイエルエステクノロジー	
A1-5		蒸着装置とケルビンプローブ(KP)の複合化装置および超高真空KP/PYSとLEIPSの複合化装置について	株式会社東京インストルメンツ	
A1-6		Fluxim製品の紹介	サイバネットシステム株式会社	
A1-7		有機EL材料向け重水素標識化合物	大陽日酸株式会社	
A1-8		OLEDとMicro Displayの市場と産業に関する様々な情報のご提供	UBI Research Co, Ltd.	
A1-9		ガス・水蒸気透過度測定装置及びその受託分析サービスなどについて	株式会社MORESCO	

S4:新規デバイス/解析 座長: 河村 祐一郎 (出光興産株式会社 先進マテリアルカンパニー電子材料部)

S4-1	16:25 ~ 16:45	C ₃ キラルなトルキセン類が示す優れた円偏光発光特性の振電解析とCP-OLEDへの応用	大峰 拓也	大阪大学 大学院工学研究科
S4-2	16:45 ~ 17:05	インクジェット式OLEDを用いる多次元データ解析に向けたセンシングデバイスの開発	南 晴貴	コニカミノルタ株式会社
S4-3	17:05 ~ 17:25	電界誘起二重共鳴SFG分光によるトップエミッション有機EL素子解析	森本 和紀	LG Japan Lab(株)/千葉大学 大学院融合理工学府
S4-4	17:25 ~ 17:45	DABNA-1における輻射・無輻射過程の速度定数計算とその解析	上島 基之	株式会社MOLFEX
		移動		

18:00 ~ 20:00	交流会 (Sky Restaurant シーガル) 司会: 硯里 善幸 実行委員長 (山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター)
---------------	---

6月23日(金) 9:00~16:30

8:45 ~ 9:00	開場・受付
-------------	-------

S5: 電荷注入・輸送 座長: 野口 裕 (明治大学 理工学部)

S5-1	9:00 ~ 9:20	有機非晶系におけるマルチスケール電荷輸送解析 —移動度の分布と電荷トラップの分子論的理解—	佐藤 弘毅	京都大学 化学研究所
S5-2	9:20 ~ 9:40	有機アモルファス半導体の電子物性予測	内藤 裕義	大阪公立大学
S5-3	9:40 ~ 10:00	測定レンジを最適化した変位電流測定法によるOLED評価	井上 勝	TOYOTech LLC
S5-4	10:00 ~ 10:20	有機/金属界面での電子注入・収集障壁と金属拡散の影響	吉田 弘幸	千葉大学大学院工学研究院/千葉 大学分子キラリティ研究センター
S5-5	10:20 ~ 10:40	OLEDにおける正孔注入機構の解明と青色TADF-OLEDの省電力化	大野 拓	NHK放送技術研究所
	10:40 ~ 10:50	休憩 (10分)		

S6: 特別講演 座長: 硯里 善幸 (山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター)

S6	10:50 ~ 11:30	岐路に立つフラットパネルディスプレイ業界、今後の見通し(とOLEDの行方)	中根 康夫	みずほ証券株式会社 エクイティ調査部
	11:30 ~ 13:00	昼食 (90分)		

S7: 学生口頭発表(TADF) 座長: 福島 大介 (住友化学株式会社 先端材料開発研究所)

S7-1	13:00 ~ 13:15	異常な熱挙動を示すTADF分子の発光メカニズムの解明	水越 啓斗	九州大学 最先端有機光 エレクトロニクス研究センター
S7-2	13:15 ~ 13:30	高効率・長寿命青色OLEDのための新規HBL/ETL材料の素子評価	桐山 汐音	九州大学 最先端有機光 エレクトロニクス研究センター
S7-3	13:30 ~ 13:45	多重共鳴型水色環状熱活性遅延蛍光材料群と高効率・高色純度有機EL	熊田 健吾	山形大学 大学院有機材料システム研究科
S7-4	13:45 ~ 14:00	Host effect in solution-processed hyperfluorescence systems	Yongxia Ren	Institute for Chemical Research, Kyoto University
	14:00 ~ 14:10	休憩 (10分)		

S8: 学生口頭発表(新規デバイス/解析)

座長: 高田 徳幸 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 電子光基礎技術研究部門)

S8-1	14:10 ~ 14:25	リン光有機EL素子の自発的配向分極と電荷蓄積および 励起子消光特性の相関	中野 正太郎	明治大学 大学院理工学研究科
S8-2	14:25 ~ 14:40	双極子ドーピングによる電荷蓄積特性制御と電気伝導および 励起子消光特性のホスト材料依存性	武田 実宙	明治大学 大学院理工学研究科
S8-3	14:40 ~ 14:55	インクジェット印刷を用いたペロブスカイトナノ結晶LEDの開発	奈良崎 航平	山形大学 大学院有機材料システム 専攻
	14:55 ~ 15:00	閉会の辞: 河村 祐一郎 副実行委員長 (出光興産株式会社 先進マテリアルカンパニー電子材料部)		

15:00 ~ 16:30	ポスター討論 (S1, S4, S5, S7, S8)
---------------	-----------------------------

【講演形式について】本討論会における各講演発表は、下記①~⑤のいずれかの講演形式で行います。

- ①受賞記念講演(30分)
- ②特別講演(40分)
- ③特別セッション(30分)

【一般講演】

- ④一般口頭発表(20分: 質疑応答含む)とポスター討論(90分)
- ⑤学生口頭発表(15分: 質疑応答含む)とポスター討論(90分)

【ポスター討論について】講演者と参加者の討論を促すため、一般講演における筆頭発表者が講演会終了後に参加者と討論する場(ポスター討論)を設けます。余裕のある時間とリラックスした雰囲気の中で行われる活発な討論には是非ご参加ください。

【企業展示】法人会員9社による展示ブースを設けます。

【交流会】1日目の例会終了後に交流会を開催します。

【講演奨励賞対象者について】一般講演における35歳以下の筆頭発表者が講演奨励賞の対象になります。

【学生講演奨励賞対象者について】学生口頭発表における筆頭発表者が学生講演奨励賞の対象になります。

